

日本企業で活躍する
JET OB-OG

人と組織がさらに輝く未来に向けて

株式会社 コーチ・エイ アンジー・トン

国際交流員（CIR）として神奈川県川崎市役所で過ごした2年間は、私にとってかけがえのない2年間となりました。

本を読んでも、映画を見ても、誰かの話を聞いたとしても、自分自ら体験しないと味わえない「日本」の特徴や文化をJETを通してたくさん知ることができました。それは四季の魅力だったり、満員電車の苦痛だったり、和食のうまみだったり。JETプログラムは、一人ひとりの参加者たちが「日本」を自分なりに体験できる、貴重な機会だと思います。

また、CIRとしての経験を通じ、国際交流は人と人との出会い、心と心のふれあいから始まるものだと、強く実感しました。心と心のふれあいから、はじめて相手が持っている視点や価値観に対して、関心や理解が生まれます。30周年を迎えるJETプログラムは、世界各地の人たちが持っている視野や背景にふれあえる場を作り上げながら、日本にいる多くの子供たちや市民の方たちに新しい扉を開ける機会を提供してきたのではないかと思います。

この経験から、心と心がふれあう瞬間の温かさをよ

り多くの人たちに体験してもらいたいという想いが強まりました。

現在は株式会社コーチ・エイでビジネスコーチとして勤めており、国内外企業の先頭を走るリーダーたちを中心に、リーダー開発、そして組織変革を支援するパートナーとして働いています。世界で活躍されているリーダーの方たちが、異文化の垣根を越えて、多様な視点や価値観にふれあい、新たな可能性を発見できる瞬間を数多く作っていきたいです。

JETの経験を胸に、今後はコーチとして、人と組織がさらに輝く未来に貢献していきたいと思っています。



プロフィール



アンジー・トン

カナダ出身。大学を卒業後、CIRとして神奈川県川崎市に勤務。その後、株式会社コーチ・エイに入社。コーチとして国内外企業の組織風土変革やリーダー開発に携わる。

人事担当者から一言

株式会社 コーチ・エイ 採用担当執行役員 長田 祐典

コーチ・エイは、企業や組織のエグゼクティブ層を対象に、コーチングというサービスを提供しています。トップアスリートにコーチがつくように、企業のエグゼクティブが、自らのパフォーマンスを発揮し、組織の能力を最大限に引き出すリーダーシップを身につけることを支援しています。

アンジーと初めて会ったのは、当社開催のセミナーの会場です。当時、アンジーは行政機関に勤めていましたが、ボランティア活動を通じてコーチングを知り、興味をもって、セミナーに参加していました。質疑応答の時間で言葉を交わしましたが、「コーチングを学びたい。将来はエグゼクティブにコーチをしたい」と、控えめながらも、熱く語る姿が印象に残りました。

当社は、社員に自主性を求



める社風が強くあります。与えられた仕事をこなすのではなく、自ら考え、行動を起こすことを求めます。好奇心が旺盛で、積極性が高く、なんでもやってみようという姿勢をもつアンジーは、当社の社風に非常にマッチしていると感じました。また、日英どちらの言語で話しても、理解が早く、表現も豊かで、言葉を少し交わすだけで聡明さを感じさせます。落ち着いた雰囲気をもっており、入社して1年も経っていませんが、すでにクライアント企業のエグゼクティブから信頼される存在になっています。

当社のクライアントにはグローバル企業も多く、コーチングの対象は日本人に限られません。アンジーのように複数の言語を話し、多様な文化の経験をもつコーチの活躍の場は、ますます増えてくると思います。グローバルな人材が求められる昨今、JETプログラムが社会に提供する価値は、さらに大きくなっていくことと思います。